



人の動き (敬称略)

ご誕生おめでとうございます

氏名	届出人	住所
田邊 唯子	良太	神福

ご結婚おめでとうございます

吉川 徹	笠木
(赤井) 里穂	米子市

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
木村 満	61歳	下阿毘縁
松岡 弘毅	85歳	佐木谷
遠藤 貞子	96歳	宝谷

(令和2年11月16日~令和2年12月15日受付分)

■世帯 1,990 (- 1) ■人口 4,401 (- 3)
 ■男 2,081 (+ 4) ■女 2,320 (- 7)

法令の改正により、外国人を含めた世帯数と人口を掲載
 しています。 令和2年11月末日現在

町長 日誌

もうすぐ令和2年が終わろうとしています。振り返ると「新型コロナウイルス感染症」中心の1年でした。町民の皆様の多くがそのように思われていることと拝察します。コロナ禍で感じたことは人それぞれかもしれません。私はこのように感じています。

現在、感染者の状況は鳥取県が最も少なく、かつ死者も出ていません。鳥取県が先を見据えた施策・事業を先手に打ち、各自治体も地域を背景に独自の施策を行ってきたこともあり、町民の皆様方一人ひとりの「手洗い・うがい」「三密を避ける」など自覚ある行動、感染症対策を自ら考えて、行動、決断していただいたことが大きいと考えています。

一方で本町も経済に大きな打撃を受けました。私は新型コロナウイルス感染症経済対策の指針のひとつとして「廃業をさせない」とかけました。依然として厳しい事業主は多い中で、日南町は「コロナ禍で見えたもろさより強さ」を感じています。繰り返しになりますが、それは、町民一人一人の我慢ながらも感染拡大予防や経済対策への理解と協力によるものです。町民の皆様には引き続き気を緩めることなく、感染予防に努めていただきますようお願い申し上げます。この1年間大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

12月5日記 中村 英明



観光協会 通信 2021年1月号
 日南町観光協会 TEL 82-1715

令和2年度「にちなんエコツーリズム推進協議会」中間報告会

11月5日、「にちなんエコツーリズム推進協議会」(以下、協議会)による今年度の活動状況に関する中間報告会が開催され、多里地域振興センター、山上地域振興センター、日南町役場の3会場をオンラインで繋ぎ、関係者計34名の参加がありました。

協議会は、平成31年3月に発足し、日南町で動植物や文化を保全しながら観光に繋げるための仕組みづくりを行うことを目的に活動をしています。

今回の報告会では、オオサンショウウオやホタル、モモンガやノスリ、ゴギといった生態調査の状況について、各分野の専門家より報告があり、身近な動物たちの知られざる行動が次々と明らかになり、参加者からは驚きの声が何度も発せられる刺激的な報告会となりました。

協議会の一員でもある町観光協会からは、季節ごとの日南町の魅力、つまり【町の宝】を掲載する『フェノロジーカレンダー』の作成状況について報告を行い、今後、作成を進めていくうえで、フェノロジーカレンダーを観光のみでなく、農業や林業といった他の産業とも組み合わせて活用していきたい旨の報告を行いました。

協議会では、令和4年3月までに町内の特定地域に生息する動植物の保全と観光や生活を両立させるルール(全体構想)を作成し、国の認定のもとモニタリング調査・環境教育・環境保全活動・エコツアーなど生物多様性保全活動を展開していく計画です。



▲今回、初めてオンラインでの報告会を行いました。会場は分かれていましたが、大きなトラブルもなく、全員が同じ会場にいるような感覚で実施できました。

